

インドに進出して成功する秘訣ヒント

- 1 会社の目的
 - 1 何をするのか。インド国内、輸出基地、日本へ輸出
 - 2 インド側パートナーを入れるか入れないか
 - 3 インド政府の意向まで深読みするか

- 2 会社をいかにスムーズに作るか
 - 1 世銀の調査によればニュージーランドは2日、インドは89日
 - 2 設立の費用、250万円から2千万円
 - 3 会社の名称
 - 4 仮事務所
 - 5 スタッフの採用
 - 6 日本人のビザの取得
 - 7 日本人スタッフの所得税の計算
 - 8 Co.Ltd か Pvt.Ltd.か
 - 9 取締役会の開催

- 3 工場を建設するには
 - 1 土地の取得
 - 2 建設許可の取得
 - 3 環境クリアランス
 - 4 操業許可書

- 4 経営
 - 1 監査人の選定
 - 2 日常経理のコンサル
 - 3 税務関連コンサル
 - 4 顧問弁護士の選定
 - 5 人事、採用
 - 6 就業規則の策定
 - 7 休日の決定
 - 8 労務対策
 - 9 同じ条件なら他社に負けない
 - 10 日本他社との付き合い
 - 11 ニューデリー商工会への加入

- 5 マーケティング
 - 売り先の特定、セグメントを同定して攻める
 - 代金回収
 - 手形決済はない
 - 配当は毎年変えないのがインドの一流企業

- 6 成功の形
 - 1 先駆者利益
 - 2 寡占市場
 - 3 ブランドの確立
 - 4 専門家が必要。社内外
 - 5 本格的に取り組むこと。片手間はやけどのもと
 - 6 人間的に尊敬される人を派遣

- 7 インドでは
 - 1 インドでは何でもできるが、間違うとにっちもさっちも行かなくなう
 - 2 当てにしていけないものがある。政府の手続きに多い
 - 3 余裕を持って全てを行うこと
 - 4 スタッフにはイエスマンを集めないこと
 - 5 命令する人とされる人の二種類
 - 6 上忍下忍の使い分け
 - 7 灰色を黒とするか白とするか
 - 8 日本式のF Sチェックリストは通用しない
 - 9 情報が多すぎる。人により答えが違う
 - 10 英語を話せない人は人にあらず
 - 11 沈黙は金は通用しない
 - 12 時は金なりの意味
 - 13 親日的である
 - 14 金に汚い
 - 15 転職は当たり前。3年居れば良いと考える
 - 16 マニュアルは幼稚園児に与えるつもりで
 - 17 インドの会社はそれぞれ社風が違う
 - 18 ベジタリアンがいる
 - 19 インド人と話すときタブーはない
 - 20 優秀な頭脳の持ち主がいる

- 21 優秀そうふりをしている人がいる
- 22 言い訳をする
- 23 誤りを認めない
- 24 経営、運営は日本流を持ち込む
- 25 礼儀を忘れてはならない
- 26 裏金はそんなに必要ではない
- 27 インドは変化している
- 28 明日の世界を担うインド
- 29 中国も大事だがインドも
- 30 中国と回教がインドの頭痛の種
- 31 木に竹を接ぐことのできた国
- 32 インドへ行ってください